

戦後日本の学校体育における教材について
ータッチフットボールの導入、削除過程の検討からー

0510654d 磯谷ゆきみ

1. 研究の動機

タッチフットボールは、用具・施設・安全性などの点で誰でも簡易に出来るようにアメリカンフットボールを変更して作られたスポーツである。現在の日本ではあまり知られていないスポーツだが、第二次世界大戦後、このスポーツが日本の学校体育の教材の一つとして位置付けられていた時期があった。

その時代に、学校体育の目標、タッチフットボールという教材の教育的価値はどう考えられていたのかという点に興味をもった。

2. 研究の目的と意義

教材としてのタッチフットボールの導入と削除の過程の解明を通し、戦後日本の学校体育の教材に求められていたものについて検討することを目的とする。

本研究の意義は以下の2点にある。

1) 体育の目標や意義を満たすための教材の教育的価値について見直すことが出来る。また、現在問い直されている学校体育の意義に関する知見の一つとなる。

2) タッチフットボールの教育的価値を再考する契機となる。

3. 研究の方法

研究対象期間(1946年～1958年)

を2期に区分し、タッチフットボール実践校の授業記録、授業実践に關与した方へのインタビュー、学校新聞、GHQ 文書等の史料により、タッチフットボールの体育教材への導入、実践、削除の過程を再構成する。時期区分は 1) 導入段階(1946～1947年)、2) 実践～削除段階(1947～1958年)とする。1947年に関しては、学校における実践については実践～削除段階に含むものとする。

4. 先行研究の検討と本研究の課題

1) タッチフットボール受容の歴史

伊東による論文に、第二次世界大戦後から約10年間について記述がある。その後、1960年頃、アメリカンフットボールへの移行現象が起こっていったことがわかっているが、体育の教材としての排除の経緯の詳細については明らかにされていない。

2) 戦後日本学校体育史

学習指導要領の改訂に当たったの方針や内容は、江橋、丹下らによって詳細に明らかにされている。しかし、タッチフットボールの授業実践については当時の研究授業の一例のみであり、また、タッチフットボールを教材として選定、削除した際の議論や、学校における実践事例等についての言及は見られない。

以上より、本研究の課題を以下の

3 点を説明することとする。

1)学習指導要綱へ導入された社会的背景、教育的背景。

2)学校におけるタッチフットボールの指導の様子、そこから考えられるタッチフットボールを体育の教材として扱う上での問題点。

3)教材を精選する際、他種目と比較されたのであれば、学校体育において何が優先的に考慮されたのか。

5. 結果

1) 導入段階について

タッチフットボールが教材に導入された背景として、第二次世界大戦で敗れた日本が、米軍から多大な影響を受けながら、軍国主義から離れ、教育全体及び体育の方向性を大きく転換したことがあった。その民主主義の方針の中で、スポーツ教材が重視され、タッチフットボールもその一つとして米軍からの紹介をきっかけに取り入れられた。その意義は他のスポーツと同様に、体力の向上及びスポーツマンシップの養成におかれていた。この中でタッチフットボール個別の教材としての主な価値は、1) 身体的な発達（特に持久力・機敏性）を促す。2) スポーツマンシップの養成ができる。3) 創造的な活動を含み、作戦の工夫において面白みがある。4) 安全である、という4点にまとめられる。

2) 実践～削除段階について

主に課外で広まりを見せたタッチフットボールであるが、正課体育で

の実践を4例見出すことができた。学校体育研究発表会における研究授業、池田中学校、長浜南中学校及び八阪中学校における実践である。タッチフットボールに魅力を感じた教師が熱心に指導し、生徒もタッチフットボールに興味を持ち楽しんでプレーしていたことがわかった。

学習指導要領においても、バスケットボールなどとは数値的にはわずかに差があるものの、教材としての価値は評価されており、意義は認められていた。

削除された背景の一つとして、基礎的技術の系統だった学習と体力育成に重点をおくオリンピック選手養成型の学校体育への方針転換が考えられる。

6. まとめ

上記の過程の再構成を通し、教師から生徒へ連続的に引き継がれていたスポーツであったことがわかった。ルールが複雑といえるスポーツであるため、排除に至る過程としては指導教員の存在の減少がポイントとなったのではないかと考えられる。

オリンピック選手養成という要求から、基礎的技術の系統だった学習と体力育成に重点を置かれるようになった体育の中で、タッチフットボールは、体育の目標達成のための価値以上に、そのスポーツの新しさから、指導の困難さという問題を抱えていたのである。